

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3 年 11 月 11 日

公表: 令和 4 年 1 月 12 日

事業所名 _____ 放課後等デイサービス 木

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・基準に沿う。	
	2	職員の配置数は適切である	5		・基準に沿う。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	・在籍している利用者のレベルに合ったバリアフリーになっている。 ・手すり段差等事業所内でできる事はできている。	・在籍利用者に合った作りになっている。 必要に応じて階段及び段差等の付き添いを行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・職員間で相談。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・アンケート結果で改善案を提示、実行する。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・他者から公開を見ましたと聞いている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・必要に応じて研修を行う。 又、研修内容を職員会議で報告。	
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		・会議を行い利用者に合うサービス計画作成をする。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・相談支援内容を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員間で相談。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・季節、時期に応じて対応。 利用者に随時聞き取りを行う。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		・予定表作成。	

切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		・土曜日希望利用者で小集団活動を行う。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	・朝礼、終礼等で確認。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	・気付きは業務日誌に記入している。 ・気付いた点は業務日誌に記入する事。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	・活動記録票に記入。 又、業務日誌も活用する。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		・会議を行い、サービスの見直しをする。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		・反省検討等を行い、必要に応じて職員間で話し合い、支援に活かす。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・管理者及び担当者が参加。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		・学校担任、保護者に毎月確認し対応。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2		・医療ケアが必要な方はみえない。 ・事例なし。 ・把握していない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	・必要に応じて対応出来るようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	・要望があればいつでも対応出来るようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・必要と思われる研修等はいつでも受けられるようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	・地域イベントに参加経験有。 ・よく児童クラブに通っている子を見かける。 ・地域活動に参加。 その時の交流のみ。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	・日程調整し、出来る限り参加している。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・相談支援、送迎時及び、随時必要に応じて対応。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	・会の開催は無く、相談支援等で必要に応じて対応。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時及び随時行っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・いつでも対応出来るようにしている。相談支援で対応する場合あり。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・今の所予定は無いが父母の会、保護者会の要望があれば検討。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・いつでも対応出来るよう準備完了している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	・年単位で発行予定。行事予定は毎月発行。掲示板使用。	・ブログ、掲示板を活用する。
	35	個人情報に十分注意している	6		・職員に周知、又、職員同士意識をもって対応。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・情報は職員で共有場所を決めて話をする。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	・催しはしていないが地域が行うものに参加はしている。 ・事業所を会場の一部とし地域イベントに参加。 ・会の開催は無く地域活動に参加。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		・マニュアルを作成。職員に周知し、保護者には連絡で対応。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・定期的に避難訓練を行っている。 ・年1回利用者と一緒に避難訓練、年2回職員の避難訓練を行う。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・定期的に虐待に関する勉強会を行っている。 ・必要に応じて研修及び、職員会議。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2		・事例なし。 ・身体拘束の利用者無し。	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から説明、フェイスシートで確認し、対応している。 ・保護者からの連絡とフェイスシートでの確認。 	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてヒヤリハット作成集を利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌等を活用する。